

反原発・細川牧場裁判を支援するつどい

～報道写真家 三留理男さんを囲んで～



被ばくした馬の世話をする細川徳栄さん（福島県飯舘村）

原発事故により全村避難とされた福島県飯舘村で家畜商を営む細川徳栄さんの牧場は多大な被害を受けました。被曝した130頭の馬と23頭の牛、たくさんのポニーを行政から、「殺処分して避難しろ」と言われた細川さんは「家族同然の馬や牛を殺すことはできない」と残って世話を続けました。

2013年1月ごろから馬たちの不審死が続き、世話を続けるのも限界となり家畜商は成り立たなくなりました。東京電力への賠償交渉は被害を不当に低く算定され決裂しました。細川さんは「血も涙もない、ひどいな、東電は」と、損害賠償裁判を起こす事を決めました。東京電力に正当な賠償を行わせ二度と原発事故を起こさせない反原発の裁判です。私たちもこの裁判への支援を広げていきたいと考えて

ています。今回、細川さんや馬たちの苦しみ、憤りを撮り続け「反原発・細川裁判を支える準備会」を立ち上げた写真家、三留理男さんをお招きして講演会を行います。多くの皆さんの参加、支援と協力をお願いします。

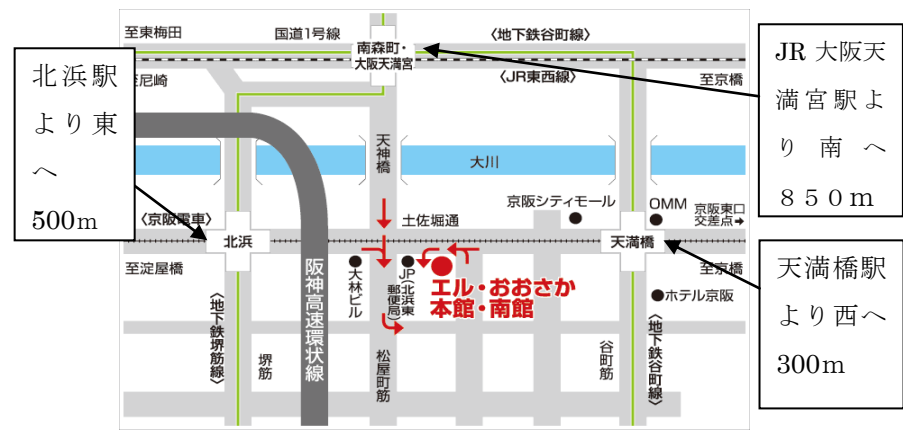
●講演者 三留理男さん

アジア・アフリカを中心に取材を続け、82年「第1回 土門拳賞」を受賞。国際連合から恒久IDを交付された、世界でも数少ないフォトジャーナリスト。2014年『3・11 FUKUSHIMA 被曝の牧場』を刊行。

4月29日（火・祝）13:30

場所：エルおおさか・南ホール（南館5F）

参加協力費 700円 非正規職・失業者・学生 500円



主催：2014ZENKO（平和と民主主義をめざす全国交歓会）実行委員会
連絡先：090-5646-4273（土屋）
zenkoweb@gmail.com
<http://www.zenko-peace.com>